

淀川部会 一般意見聴取の試行 / 現地対話集会（案）

目的

- ・「中間とりまとめ」をもとに、委員会の方から現地に伺い、論点に関わる関係者（住民、企業、自治体等）と双方向の対話を促進し、河川管理者への提言内容をより充実したものとする。
- ・現地での関係住民との双方向対話から、新たな一般意見の聴取・反映方法を検討する。

テーマ

（淀川部会 WG をもとに選定。数字は個別テーマ案。カッコ内は、招聘候補）

水需要管理

- 1、今後の水需要と水の再利用（上水道管理者<例えば、日本水道協会川北和徳専務理事など）、水質関連のNPO、自治体、）
 - 2、節水行動と生活（自治体、NPO、生協等）
 - 3、農業用水と河川（自治体（農業部局等）、農業共同組合、農家の方々）
- ・開催場所例：大阪府の上水道施設、京都府内の農協など

高水敷利用

- 1、川らしさ、川本来の姿とは（自治体、公園利用者等）
 - 2、高水敷の利用のあり方（公園の利用者、自治体、少年野球団体、河川環境に意識の深いの方々）
- ・開催場所例：枚方市の河川公園、城北公園付近の大阪工業大学など

洪水防御、防災

- 1、水害に強い街づくりとは（自治体（河川・都市計画関連部門等）、水防団等）
 - 2、防災意識の向上に向けて（自治体（防災関連部門等）、水防団、洪水の経験者等）
 - 3、水害に関する情報提供のあり方（自治体（防災関連部門等）、水防団、マスコミ等）
- ・開催場所候補：八幡市、名張市

環境、水質

- 1、河川の水質改善のための流域のあり方（自治体（環境関連部門等）、環境関連NPO等）
 - 2、環境教育の在り方（自治体、教育関係者、環境関連NPO等）
 - 3、良好な河川景観とは（自治体、流域住民）
- ・開催場所例：大阪市下水道局海老江下水処理場等

上記テーマを参考に、大テーマ、個別テーマそれぞれを、委員の方々の議論の上、決定する。

開催日数は、8月中に2回程度を目処とする。

- ▼ 開催場所については、基本的には参加者の便の良いところとし、上記記載のテーマに関連する場所等については委員のご意見をもとに決定する。

周知方法

自治体の広報チャンネル、地域の河川・水関連の団体・NPO等への参加申し込み、これまでの傍聴者・参加者への案内など